

「中日对照」

日语睿读

文学篇

总主编 周庆玲
主编 刘海玲



日语睿读系列

日语睿读 文学篇

总主编 周庆玲

主 编 刘海玲

编 者 孙莹莹 小池生贵(日)



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

内 容 提 要

本书为日语睿读系列丛书之一,编入日本近现代文学名篇以及近几年日本人气作家的作品,体裁多样,内容丰富,反映了日本社会的百态。每篇文章后均有生词注释和中文译文,并参照日语能力考试的形式设计了读解题供读者自测。

图书在版编目(CIP)数据

日语睿读.文学篇:汉日对照/刘海玲主编. —上海:上海交通大学出版社,2013

ISBN 978-7-313-09396-7

I. ①日… II. ①刘… III. ①日语-汉语-对照读物 ②文学作品综合集-日本-近现代 IV. ①H369.4:I

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2013)第 006336 号

日语睿读系列

日语睿读 文学篇

主编 刘海玲

上海交通大学出版社出版发行

上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030

电话:64071208 出版人:韩建民

上海景条印刷有限公司印刷 全国新华书店经销

开本:710mm×1000mm 1/16 印张:11.5 字数:228 千字

2013 年 8 月第 1 版 2013 年 8 月第 1 次印刷

印数:1~3030

ISBN 978-7-313-09396-7/H 定价:30.00 元

ISBN 978-7-88844-758-5 (含 MP3)

版权所有 侵权必究

告读者:如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系

联系电话:021-51002888

前 言

本书以趣味阅读为编写宗旨,精选日本近现代文学作品长、短篇佳作共 25 篇,每篇文章由作品正文、语句注释、问题、译文四部分组成。

本书不同于以往介绍日本文学作品的书籍,不拘泥于作家或某个时代的代表作品,也不以作品的主题思想、人物特征等为中心点,主要是从趣味的角度来欣赏日本文学作品。本书最大的特色是精选了近几年日本人气作家的作品,这是国内读者很难看到的佳作。并选编近代名家少为人关注的作品。编排上依据“由易入难、由浅入深、由近及远”的原则,体裁多样,内容丰富。反映了日本的社会生活、家庭关系、人性等各个方面,让读者感到有趣的同时,也会留下深深的思考。

作品的语句注释部分主要针对难词的释义或语法在作品中的使用,以及一些方言的注解。作品中相对较难的词语也注有假名,有助于读者在阅读的同时,能够学习到新的词汇与语法,对日本的古语以及方言有所了解。

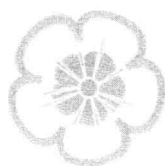
问题部分是针对作品内容的练习,帮助读者在阅读后检验对作品的理解。同时也可以通过问题加深对作品的理解与思考。

译文部分,最后 4 篇在国内已有大量译本,因此直接援用了使用较普遍的译文。其余 21 篇均为编者所译,谨供读者参考。

本书不仅适用于日语专业的学习者,也可作为日语学习及爱好者提高日语阅读能力、培养阅读兴趣及文学素养的读物。编者希望通过“引进”日本近几年人气作家作品,让国内读者能欣赏到原汁原味的日本现代文学佳作,有机会接触到日本现今流行的文学作品。

本书的编写,因时间仓促及编者水平所限,不妥乃至谬误之处在所难免,敬请日语界同仁以及读者朋友批评指正。

编 者



目次

1	ビデオレター 百田尚樹	
	录像带	1
2	そっくりさん 百田尚樹	
	长相酷似的人	6
3	夢見る 東野圭吾	
	做梦	12
4	告白 湊かなえ	
	告白	18
5	終の住処 磯崎憲一郎	
	最终的栖身处	23
6	少女 湊かなえ	
	少女	28
7	豹(ケモノ) 道尾秀介	
	野兽	36
8	気ままな生活 星新一	
	随心所欲的生活	45
9	枕 星新一	
	枕头	52
10	二人の兄弟 島崎藤村	
	两兄弟	59
11	岡の家 鈴木三重吉	
	山岗上的房子	66
12	三角と四角 巖谷小波	
	三角与四角	74
13	絵本 林芙美子	
	连环画	81
14	感応 岩村透	
	心灵感应	86
15	兵隊の死 渡辺温	
	士兵之死	90



16	あ 向田邦子	
	啊	94
17	心中 川端康成	
	一家自杀	100
18	雀の媒酌 川端康成	
	麻雀做媒	105
19	縛られた夫 川端康成	
	被绑着的丈夫	110
20	棄てる金 若杉鳥子	
	扔掉的钱	118
21	鬼 織田作之助	
	鬼	126
22	第三夜 夏目漱石	
	第三夜	135
23	蜘蛛の糸 芥川龍之介	
	蜘蛛丝	141
24	桜の森の満開の下 坂口安吾	
	盛开的樱花林下	149
25	注文の多い料理店 宮沢賢治	
	一个规矩繁多的饭店	162



ビデオレター

俗^{ぞく}に、美人^{びじん}は三日^{みつ}で飽^あきる^(注1)、と言^いいます。

たいして美人^あでもない私^{わたし}に三年^{さんねん}も飽^あきないでいてくれたからよしとしなければなりませんね。ごめんなさい。このビデオレターはそんな大昔^{おおいむかし}のことを愚痴^{ぐち}る^(注2)のが目的^{もく}ではないのです。ちょっと待^{まち}ってくださいね。喋^{しゃべ}り続^{つづ}けて喉^{のど}が渴^{かわ}きました。もう一杯^{いっぱい}水を飲^のませてください。

ええと、どこまで話^わしましたか。ああ、そう、浮気^{うわき}^(注3)の話^わでしたね。あれはあなたが三人目^{さんにんめ}の女子社員^{じょししやひん}と浮気^{うわき}をした頃^{ころ}です。名^な前は木下澄枝^{きのしたすみえ}さん。この方^{あなた}は営業^{えいぎやう}にいましたね。ぽっちゃり^(注4)した可愛^{かわい}いタイプでした。あなたが私^{わたし}と結^く婚^{こん}するた^ためにいろい^{いろ}ろと工^{こう}作^{さく}^(注5)をしていたという話^わを藤井^{ふじい}さんか^から聞^きいたのは、ち^ちょうどその頃^{ころ}でした。どうしたの？顔^{かお}色^{いろ}が少^{せう}し悪^{わる}いですよ。嫌^{きら}なら、このDVDを消^けしますか？それともまだ私^{わたし}の話^わをお聞^ききになりますか。私^{わたし}の話^わはもうすぐ終^はわります。

あなたに浮気^{うわき}されて、私^{わたし}がどう思^{おも}ったかわかりますか？多^{おほ}分^ぶ、あなたには想^{そう}像^{ざう}もつ^つかないことだと思^{おも}います。私^{わたし}は、あなたを一所^{いっしょ}懸^{けん}命^{めい}に愛^{あい}そうと努^{つと}めたのです。誰^{たれ}よりも大^{おほ}きな愛^{あい}であなたを包^{つつ}もうと思^{おも}いました。男^{おとこ}ですもの、浮気^{うわき}のつ^つつや二^{ふた}つ、どうとい^いうことはありませ^ない。若い女性^みに見向^{みむ}きもされ^{され}ない^(注6)男^{おとこ}なんて少^{せう}しも魅^み力^{りよく}

(注1) 飽きる(あきる): 无聊, 厌倦, 厌烦。

(注2) 愚痴る(ぐちる): 发牢骚, 抱怨。

(注3) 浮気(うわき): 有外遇, 婚外恋, 偷情。

(注4) ぽっちゃり: 丰满, 微胖。

(注5) 工作(こうさく): 制作, 手工, 酝酿, 准备, 事前活动; 工程, 建筑。

(注6) 見向きもされない(みむきもされない): 不理不睬, 连看都不看一眼。



的ではありません。世の中の奥さんのほとんどは夫の浮氣に逆上^(注7)して、夫を問い詰め、なじり^(注8)、非難します。その結果、夫の愛は冷め、遊びだった浮氣が本氣になることもあります。たとえ本氣にならなくても、妻への愛は完全に冷めてしまうことになります。私はそれを怖れたのです。私の献身的な愛に、あなたは私のことをとてもよく出来た妻だと思ってくれました。だから私を捨てようとはせずに、安心して浮氣を楽しみました。

さっき、あなたが新婚旅行の帰りに私をホトトギス^(注9)と喩えたことは申しあげましたね。あれは本当に上手い喩えでした。

実はホトトギスは美しい鳴き声の他にも特徴があるのをあなたはご存知でしたか？ホトトギスは託卵^(注10)する鳥なのです。卵を託すと書きます。ホトトギスはウグイス^(注11)などの巣の中に、自分の卵をこっそりと産み落とすのです。何も知らないウグイスは、卵から孵った雛を自分の雛だと思って、一所懸命に育てます。そしていつのまにか自分よりも大きくなっている雛に、せっせと^(注12)エサを与えるのです。

ここまで申しあげれば、勘のいい^(注13)あなたのことから、わかりかもしれませんね。

そうです。私が産んだ三人の子供はみんな浅岡の子供です。浅岡と再会したのはあなたが浮氣を繰り返していた頃です。彼のアパートの部屋に入った時、壁に掛けられていた私の写真を見て、彼が別れてからもずっと私を愛してくれていたことがわかったのです。そして私もまた浅岡を愛していることを——。その時、心に決めたのです。浅岡の子を産んで、有り余る^(注14)お金で子供を豊かに育てよう

(注7)逆上(ぎゃくじょう): 勃然大怒, 血涌上頭。

(注8)なじる: 責問, 責難, 责备。

(注9)ホトトギス: 杜鹃, 布谷。

(注10)託卵(たくらん): 以寄生的方式养育幼鸟。

(注11)ウグイス: 莺, 黄莺。

(注12)せっせと: 拼命地, 不停地, 孜孜不倦地。

(注13)勘がいい(かんがいい): 理解力强, 有灵性。

(注14)有り余る(ありあまる): 有余, 过多, 富余。

と。こうしてできた三人の息子はあなたのお金ですくすくと育ちました。義孝は社長に、正弘と洋平も重役になりました。そうです。

①あの会社はもうあなたのものではありません。

それでは、ごめんあそばせ^(注15)。

『幸福な生活』 百田尚樹 トーハン 2009年

❁質問一 本文の内容に合うものはどれですか。

1. 妻は夫の浮気を許し、自分は浮気もせずに献身的な愛を注いだ。
2. 妻はすべてを告白し、自分の死の後に復讐を果たした。
3. 妻は夫に嫌われるのが恐かったため、夫の浮気をずっと責めなかった。
4. 夫はホトトギスがせつせと雛に餌を与えるように、三人の息子達を養った。

❁質問二 妻のどのような点がホトトギスに似ているのか、最も不適切な選択肢を選んでください。

1. 飼い慣らすのに工夫が必要なじゃじゃ馬(烈馬)のような点
2. 献身的に愛情を注ぎ、子供をせつせと育てるところ
3. 美しい声を持っているところ
4. 託卵するところ

❁質問三 どうして①「あの会社はもうあなたのものではありません」と言えるのですか。

1. 息子達の母である「私」が会社を牛耳っているから。
2. 「あなた」は社長の座をすでに辞職しているから。
3. 「ウグイス」ではなく、「ホトトギス」が会社を運営しているから。
4. 息子達に会社を乗っ取られたから。

❁作者簡介



百田尚樹^{ひゃくた なおき}:(1956年2月23日～)出生于大阪。日本广播剧作家、小说家。同志社大学肄业。2006年发表作品『永遠の〇』,从此作为小说家登上了文坛。2009年其凭借小说『BOX!』获得第30届吉川英治文学新人奖提名,并荣获第六届本屋大奖第五

(注15)ごめんあそばせ: 相当于「ごめんなさい」。尊敬语。是一种优雅的女性用语。

名。此作品同时也被搬上了荧幕。代表作有《影法師》、《風の中のマリア》、《海賊とよばれた男》等。

❁ 作品简介

『幸福な生活』：2011年6月出版。由18篇短篇小说构成。本文节选自第12篇《录像带》。《录像带》通篇都是一个女人在录像中的自白。主人公70岁左右，是因病即将离世的社长夫人。因为一起生活50多年的丈夫当年为了得到她使用了卑鄙的手段，并且在结婚三年后多次出轨。所以她在临死前录下这段影像，目的是报复丈夫。她向他坦白了他不知道的所有事情，其中包括三个儿子都是自己曾经的恋人的孩子。

❁ 訳文

录像带

俗话说美女看三天也就厌了。对不怎么漂亮的我，你三年都没有厌倦，所以我必须认为这是好的。不好意思，这个录像带的目的并不是要抱怨那么久以前的事情。稍等一下，讲得我都口渴了，请允许我再喝一杯水。

嗯，刚才说到哪儿了？啊，对了，是外遇的话题吧。那是你和第三个女职员搞外遇的时候，她的名字叫木下澄枝，在公司的营业部工作。她是丰满可爱的类型吧。我听藤井说你为了跟我结婚做种种准备，正好是那个时候吧。怎么了？脸色有些不好了哦。如果不喜欢，把这个DVD关掉？或者继续听我的话题？我的讲话马上就要结束了。

你搞外遇，知道我是怎么想的吗？也许你根本想象不到，我一直努力拼命地想去爱你。曾经想要用比任何人更大更多的爱去包容你。男人嘛，有一两次外遇无所谓。不被年轻女性理睬的男人是没有任何魅力的。这个社会，大多数妻子对于丈夫的外遇都会勃然大怒，追问、责备、谴责丈夫。其结果无非就是使丈夫的爱变冷，丈夫可能只是一时玩玩，但却会因此而变得认真起来。就算对外遇不认真，也会对妻子变得完全冷漠起来。我很害怕发生那样的事情。从我平时对你付出的爱中，你一定会认为我是一个贤惠的妻子吧。你想要抛弃我却欲罢不能，放心地享受着出轨。

方才我提到，记得您在我们当年新婚旅行回来时把我比作杜鹃鸟对吧。这个比喻实在是太恰当了。

其实杜鹃鸟除了有美丽动听的叫声外还有其他特点，您知道吗？杜鹃是以寄生的方式养育幼鸟的。杜鹃把自己的鸟蛋偷偷地产在黄莺等鸟的巢里，不了解实情的黄莺把从鸟蛋里孵出的雏鸟当成是自己的孩子，努力地养育着，孜孜



不倦地喂着,不知何时这只雏鸟变得比自己还大。

说到这里,您悟性这么好,相信您已经明白了吧。

就是这么回事。我生的三个孩子都不是您的,是浅冈的。与浅冈见面是你反复出轨的时候。走进他公寓的房间,发现墙上挂着我的照片,这时我才知道我们分手后他还依然爱着我,而我也意识到我还爱着他。那时我就下决心了,生下浅冈的孩子,用大量的金钱把孩子培养成人。于是,我用你的钱把三个孩子都培养成人了。义孝当上了社长,正弘和洋平也成了公司董事。对,那个公司已经不再是你的了。

那么,我就失陪了。

【正解】

一 2 二 2 三 3

2

そっくりさん

五歳年上の昭雄はフリーの編集^(注1)マンだ。テレビの制作プロダクションのディレクター^(注2)が撮影^{さつえい}してきたビデオを編集する仕事だ。一旦^{いったん}、編集作業に入ると、編集ルームに何時間も籠りっぱなし^(注3)になる。時には三十時間ぶっ通し^(注4)で編集ということもある。そんな仕事だから家に帰らないことも多く、徹夜^{てつや}はしょっちゅう^(注5)だった。

テレビ番組スタッフの収録直前は①戦争状態^{しゅうろくちきよくぜん じやうたい}らしい^(注6)。昭雄に言わせれば、「俺みたいな腕^{うで}のいい^(注7)編集マンは、引っ張りだこ^(注8)」ということだ。実際、二、三日、家に帰ってこないことは月に何度もあった。長い時は数日から一週間も家を空けた。七年前に結婚した頃は、そのことに随分不満を覚えたが、四年前に長女の桃子が生まれてからは、逆に昭雄が家にいない時の方が気が楽だ。②「亭主、元気で留守^{すう じつ}がいい」というのは本当だと思った。

不満と言え、そこまで忙しく働いているのに稼ぎ^{かせ}^(注9)がそれほどでもないということだ。いろんな番組スタッフからそれほど重宝^{ちゆうほう}されている編集マンなら、もう少しギャラ^(注10)を貰ってもいいと思うのだ。でも、決して少ないわけでは

(注1)編集(へんしゅう): 编辑。

(注2)ディレクター: 导播, 电视节目制片。

(注3)っぱなし: 动词连用形+っぱなし。表示放置不管, 置之不理。

(注4)ぶっ通し(ぶとおし): 连续不断。

(注5)しょっちゅう: 经常, 总是, 老是。

(注6)らしい: 体言/活用形的终止形+らしい。似乎, 好像……似的。

(注7)腕がいい(うでがいい): 有本事, 手艺好。

(注8)ひっぱりだこ(引っ張り風): 到处受欢迎, 互相争抢。

(注9)稼ぎ(かせぎ): 工资, 工钱, 赚头。

(注10)ギャラ: 酬金, 演出费, 出场费。

ない^(注11)。近所^{きんじよ}の主婦たちの夫よりも稼ぎはよかった。

夫の勤務スタイルの話をする、口さがない^(注12)友人たちは、「外に女がいるんじゃないの？」とからかった。芳子は笑ったが、実は心配しているのは、女のことではなかった。

芳子の見るところ、おそらく夫はバイセクシャル^(注13)だ。その疑念を抱いたきっかけは寝言だった。結婚して三年ほど経った頃、夫は寝言で男の名前を何度か言うようになった。名前はいつも「ひろし」だった。

友人の家は江古田^{えごた}というところにあつた。先月、マンションを買ったから遊びに来て、と言われていたのだ。

江古田には池袋^{いけぶくろ}から西武池袋線に乗った。東京生まれの芳子だったが、西武池袋線に乗るのは生まれて初めてだった。もちろん江古田も初めて行く町だ。

ほんの少し開けた窓から入ってくる風が心地よい^(注14)。窓からの景色をぼんやりと^(注15)眺めながら、同じ東京に住みながら一度も行ったことがない町って沢山あるのだなと思った。北海道にも沖縄にも行ったことがあるのに、同じ東京でも行ったことのない町がいくらかもあるなんて^(注16)。

それにしても東京は広い。この街だけで一千万人が住んでいる。想像^{そうぞう}もできない数だ。一生のうちで出会える人間はその〇点〇パーセントもない。

ふと、前に近所^{きんじよ}の主婦たちと交わした^(注17)会話を思い出した。これだけ大勢^{おおぜい}の人が住んでるなら、自分と同じ顔をした人がいたって全然不思議じゃない。でも、まず出会うことはない――。

(注11)わけではない：体言の/活用形连体形+わけではない。表示必然的否定。也并非是。

(注12)口さがない(くちさがない)：贫嘴(薄舌)，嘴损，爱说长道短。

(注13)バイセクシャル：两性(的)，双性恋。

(注14)心地よい(こちよい)：愉快，舒适，爽快，畅快。

(注15)ぼんやりと：发呆，恍惚，模糊，不清楚。

(注16)なんて：用于举例。什么……之类的。

(注17)交わす(かわす)：交谈，打招呼。



芳子の乗った電車は各駅停車で、途中の東長崎駅で急行をやり過
 ぐす^(注18)ためにしばらく停車した。芳子は開いた窓から、線路を挟ん
 だ反対側のホームをぼんやり眺めていた。

ほとんど人がいないホームに一人の男が立っていた。あれっと芳子
 は思った——男の後ろ姿^{み おぼ}に見覚え^(注19)がある。ちょっと猫背^{ねこ ぜ}^(注20)で首
 を突き出した^{つ だ}^(注21)ような恰好が昭雄にそっくりだ。ふとした拍子^{ひょう し}^(注22)
 に男が正面を向いた時、芳子は思わず声を上げそうになった。まるで
 瓜二つ^{うり ふた}^(注23)だったからだ。でも昭雄のはずはない^(注24)。夫は今、渋谷
 にあるプロダクションでビデオの編集の真っ最中だ。よく見ると服が
 違った。あんな赤の派手なカーディガンなんか夫は持ってない。たし
 か朝、家を出る時は紺のブレザーだった。

それにしてもびっくりだわ、と芳子は思った。まさか^(注25)、こんな
 ところで夫にそっくりな人間に出会うとは——。昭雄に言ってやったら
 何て言うだろう。ここから携帯電話で写真が撮れたらいいのだけ
 だ、さすがに^(注26)そんな真似^{まね}はできない。

その時、男がホームの階段^{かいだん}に向かって大きく手を振った。男が手を
 振った方向に目をやる^(注27)と、階段から小さな子供を連れた女が降り
 てくるのが見えた。

幼い男の子は男を見つけると、「お父ちゃん」と言って走り寄っ
 た。男の子に手を差し出した男の袖口から覗いた右手の甲を見て、
 芳子は心臓^{しん ぞう}が止まりそうになった。そこには昭雄と同じ大きな黒い
 痣^{あざ}があったからだ。

(注18)やり過ぐす(やりすぐす): 让……过去。

(注19)見覚え(みおぼえ): 仿佛见过, 眼熟, 有印象。

(注20)猫背(ねこぜ): 驼背。

(注21)首を突き出す(くびをつきだす): 伸出头, 探头。

(注22)ふとした拍子(ふとしたひょうし): 忽然间, 瞬间。

(注23)瓜二つ(うりふたつ): 像瓜切成两份那样, 用来形容相貌非常相像。

(注24)はずはない: 体言の/活用形连体形+はずはない。表示客观的推测。应该不是……。

(注25)まさか: 难道, 怎会, 莫非; 万一, 意外。

(注26)さすがに: 真不愧是, 果然是; 但是, 不过还是; 就连, 甚至。

(注27)目をやる(めをやる): 朝……看。



あ ぜん
咄然とする芳子の耳に、男が子供に向かって言う声が聞こえた。

「ひろし——」

『幸福な生活』 百田尚樹 株式会社トーハン 2009年

❁質問一 ①「戦争状態」とはどのような状態ですか。

1. 出演者しゅつえんしゃとスタッフスタッフが喧嘩けんかしている状態
2. 忙しくて争いが絶えない状態
3. 忙しくて非常に混乱こんらんしている状態
4. スタッフ同士が喧嘩けんかしている状態

❁質問二 ②「亭主、元気で留守がいい」とはどのような意味ですか。

1. 夫が病気もせず働いてお金を稼いで欲しい。でも家にはいないで欲しい。
2. 夫は外にいる方が元気だ。
3. 夫が留守だと私は自由で元気になる。
4. 夫は元気でいて欲しいが、留守は嫌だ。

❁質問三 「ひろし——」という言葉聞いたときの芳子の気持ちとして考えられるものはどれですか。

1. 夫が寝言ねごとで呼ぶ名前と同じ名前を聞いて、その偶然ぐうぜんの一致いっちにびっくりしている。
2. 夫にそっくりな人を見て、びっくりしている。
3. 夫にバイセクシャルな趣味があったことに対して、びっくりしている。
4. 夫が浮気うわきしていたことに対して、びっくりしている。

❁作品简介

『幸福な生活』：2011年6月出版。由18篇短篇小说构成。本文节选并改编自第3篇《长相酷似的人》。小说的主线是主人公芳子，经常和朋友聊起这样的话题：世界上每个人都有与其长相相似的人存在。而芳子的丈夫昭雄工作非常忙，经常夜不归宿。有段时间芳子发现丈夫常常在梦中叫一个男性的名字，并在书房中发现了同性恋的杂志。因此芳子怀疑丈夫是同性恋。但比起其他搞外遇或者离婚的丈夫，芳子对此还是觉得很宽慰。而此篇小说的精彩之处在结尾，就是本文节选的最后一段，让人意想不到。



长相酷似的人

年长5岁的昭雄是个自由影片剪辑人,就是从事把电视制作导演拍摄回来的视频进行编排剪辑的工作。这种工作一旦开始,就得连续几个小时待在编辑室里,有时候要在编辑室里连续工作长达30个小时。因为这个工作,他经常不回家,通宵也是常有的事。

电视节目录音录像前犹如一场战争,正如昭雄所说:“像我这样技术高的影片剪辑人是很抢手的。”实际上连续两三天不回家这样的情况,昭雄每个月都有几次。长的时候,几天甚至一个星期都不在家。七年前刚结婚的时候,对此非常不满,但自从四年前长女桃子出生后,反而觉得昭雄不在家的时候更舒服,觉得“丈夫健康,但不在家真好”这个说法是很有道理的。

如果说到有什么不满,那就是虽然昭雄那么拼命忙碌地工作,报酬却不怎么可观。既然是被节目组工作人员视为珍宝的剪辑人,如果能再多给一些酬金多好啊。但是也绝不是说收入很少,比起附近主妇们的丈夫,收入还是不错的。

当谈论到丈夫的工作状态时,嘴损的朋友们总是开玩笑地说:“昭雄不会是在外面有女人了吧。”芳子笑了,但她担心的并不是女人的事情。

据芳子观察,丈夫恐怕是双性恋。开始有这样的怀疑源于丈夫的梦话。结婚三年后,丈夫好几次梦里叫男人的名字——“宏”。

有个朋友的家在江古田,上个月因为买了公寓,所以让芳子去玩儿。

去江古田,要从池袋换乘西武池袋线。虽然芳子生在东京,但是有生以来却是第一次坐西武池袋线。当然,也是第一次去江古田。

从窗户缝里吹进的凉风,让人觉得很舒服。芳子一边透过窗户漫不经心地欣赏外面的景色,一边感慨:自己虽然住在东京,但是没去过的地方还不少啊。虽然去过北海道,也去过冲绳,但是东京离自己近在咫尺,却有好多没去过的地方。

东京真的很大啊。仅在这个城市里就住着一千万人,让人难以想象的数字。在人的一生之中能够偶遇的人,也不及它的0.01%。

忽然想起了之前和附近主妇们的交谈。如果有这么多人居住的话,即使有与自己长相一样的人,也不足为奇。但是,总之还没有遇到——

芳子乘坐的电车是普通列车,中途为了给快速列车让路,停在了东长崎车站。芳子从开着的窗户怔怔地望着隔着铁轨对面的月台。

人员稀少的站台上站着一个男人。哎呀,芳子觉得很惊讶——这个男人的背影好像在哪儿见过,有点儿驼背并探头的样子简直跟昭雄一模一样。忽然男



人转向正面的时候,芳子不由地差点儿叫出声来,因为和昭雄就像一个模子里刻出来的一样。但应该不是昭雄。丈夫此时正在涩谷的某个制片厂进行影片的剪辑。仔细一看,衣服也不同。丈夫没有那么洋气的红对襟毛衣,早晨出门的时候好像是穿着深蓝色的西装夹克。

即便如此,芳子还是吓了一跳。怎么会在这儿遇见和丈夫长得一模一样的人呢。要是跟昭雄说,说什么好呢。如果在这儿能用手机拍下来就好了,简直太像了。

这时,男人朝着月台的楼梯方向使劲地挥了挥手。芳子朝着男子挥手的方向看去,只见一个女人领着一个小孩儿从楼梯上走了下来。

小男孩看到男人后,叫着“爸爸”,便飞奔过去。看到男人伸手去拉小男孩儿,芳子的心跳几乎要停止了。因为她看到从男人袖口伸出的右手背上有个与昭雄同样大小的黑痣。

此时目瞪口呆的芳子的耳边又传来男人对小男孩儿的说话声。

“宏——”

【正解】

一 3 二 1 三 4